

平成23年度 事業報告書

事業報告書

1. 法人運営事業

本会の事業実施状況・経営状況を的確に把握し、将来における事業展開を念頭に置いた各種事業の充実を図るとともに、円滑なる運営並びに効率のよい事業執行、法人経営ができるよう下記の法人運営事業を推進した。

(1) 理事会 ...年間6回開催

(2) 理事全員協議会 ...年間2回開催

(3) 評議員会 ...年間3回開催

(4) 監事会 ...年間6回開催

(5) 大崎市社会福祉協議会表彰式

11月に大崎市社協表彰式を開催し、福祉活動に功績のあった方々に対し感謝状、表彰状を贈呈し、福祉活動の啓蒙を図った。

表彰状贈呈者 ...29名・4団体

感謝状贈呈者 ...38名・4団体

(6) 広報発行事業

〔本所〕「大崎市社協だより」の発行 ...年3回 153,700部
(発行月 8月・11月・2月)

〔各支所〕「支所だより」の発行 ...年34回 120,550部

〔敬風園〕「敬風園だより」の発行 ...年2回

*利用者及び家族・ボランティア・関係機関等へ配布

(7) ホームページ運営事業〔本所・支所〕

...延べアクセス件数 178,728件

(8) 被災地社協への災害支援職員派遣事業

〔石巻市社会福祉協議会〕平成23年4月4日～9月30日

1クール 2～4名 実人数 26名 延べ 503名

〔岩沼市社会福祉協議会〕平成23年4月29日～7月31日

実人数 1名 延べ 68名

2. 地域福祉活動事業 ～地域福祉活動計画《地域づくりレインボープラン》～

ふれあいと支え合いによる何にでも参加できる新たな地域づくり

～住民や当事者が参加できる、社会福祉事業関係者の組織化～

地域のニーズを適切に組み込んだ住民参加型の事業展開を実施する為、地域福祉推進委員会機能の充実強化に努めました。

- (1) 地域福祉推進委員会の開催〔各支所〕 …年間 17 回開催
各支所に地域福祉推進委員会を設置し、各地域での福祉的課題や問題解決、支所事業の支援体制などに取り組んだ。
- (2) 社会福祉協力員活動推進事業〔各支所〕 …年間 7 回開催
地域と社会福祉協議会のパイプ役として、社会福祉協力員を設置して、地域福祉活動の推進と一般会員会費納入の促進に努めた。

ひとびとの絆をつくるボランティアの養成

～ ボランティア活動の普及推進～

福祉ボランティアのまちづくりを目指し、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民ニーズを積極的に開拓するとともに、いつでも・どこでも・誰でも気軽にできるボランティア活動の推進に努めた。また、地域における福祉コミュニティの形成を図ることを目的に、ボランティア活動推進事業を実施した。

1) ボランティアセンター等事業

- (1) 大崎市ボランティアセンターだよりの発行
…「大崎市社協だより」と併用し 年 1 回
- (2) ボランティア保険加入事業〔各支所〕 …年間 148 件受付
個人・団体のボランティア活動保険の加入手続きの窓口として実施した。
- (3) ボランティア交流事業〔鹿島台・岩出山・田尻〕 …年間 4 回 301 名参加
ボランティア団体同士の情報交換・交流を図れるよう実施した。
- (4) ボランティア団体活動支援事業〔各支所〕 …年間 68 回支援
ボランティア連絡協議会・友の会等への活動助成や各種支援を実施した。
- (5) 学生ボランティア育成事業〔古川〕 …年間 3 回開催
高校生、大学生を対象としたボランティア育成を実施した。
- (6) ボランティアまつり事業〔田尻〕 …年間 1 回開催 300 名参加
ボランティアと住民の交流を目的としたボランティアまつりを開催し、活動紹介や福祉バザーなど実施した。
- (7) ボランティア養成事業〔松山・岩出山・田尻〕
…年間 4 回開催 107 名参加
地域で活躍するボランティアを対象にしたレクリエーション講座やボランティア養成講座等を開催した。

2) 災害ボランティアセンター事業

- (1) 大崎市災害ボランティアセンターの設置
平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、大崎市内も甚大な被

害を受けました。大崎市社協では、翌日12日に大崎市災害ボランティアセンターを設置し、大崎市民の多大なご協力を得ながら、ボランティア活動を展開した。(4月15日閉所)

*平成23年4月1日～4月15日までの実績

- ・ボランティア受付人数 352人
- ・依頼受付件数 84件

(2) 災害ボランティアセンター体制整備・災害研修会〔本所・各支所〕

大規模災害に備え地域住民と社協、関係機関等との連携を図りながら、知識や技術の習得を目的に災害ボランティアの研修会を開催した。

3) 福祉・ボランティア活動協力校支援事業

(1) 福祉ボランティア活動協力校指定事業〔各支所〕 … 42校指定

大崎市内の小・中学校を対象に、福祉ボランティア協力校として指定し、学校内外での福祉活動の推進に対し助成を行った。

(2) キャップハンディ指導者育成事業〔古川〕 …年間1回開催 9名参加

大崎市内の小・中学校での福祉体験学習の指導者養成を行った。

(3) 福祉体験学習支援事業〔各支所〕 …年間26回支援 687名参加

大崎市内の小・中学校、高校等の福祉体験学習への支援を行った。

4) サマーチャレンジボランティア事業

(1) サマーチャレンジボランティア2011〔本所・各支所〕

〔小・中学生対象〕防災について学ぼう! …年間1回開催 19名参加

〔高校・大学生対象〕災害ボランティア活動をしよう!

…年間1回開催 10名参加

大崎市内の小・中学生、高校・大学生を対象に、福祉防災学習を実施し福祉の知識向上や仲間づくりを目的に開催した。

支え合いを具体化する地域見守りネットワークの構築

～地域におけるふれあい・支え合い活動の推進～

安心して暮せる地域づくりを目指して、地域の要支援高齢者世帯の安否確認(見守り)ネットワーク構築の充実強化を図りました。

1) 地域見守りネットワーク事業

(1) 地域見守りネットワーク事業〔各支所〕 …101行政区 818名登録

地域の福祉関係者の協力・支援のもと、要支援高齢者世帯等への定期的な訪問活動やあんしんカードを活用した緊急時の連絡体制整備などを進めた。

(2) ひとり暮らし高齢者安否確認事業〔三本木・鹿島台・鳴子〕

...対象 1,736名へ実施

地域見守りネットワーク事業と連携して、絵手紙ボランティアによる絵葉書等を通じての安否確認を行った。

(3) 友愛訪問型配食サービス事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子〕

...年間17回 1,009食

食生活の改善と安否確認を目的として、昼食やクリスマスなどの行事やおせち料理などの配食サービスを実施した。

(4) ひとり暮らし・ふたり暮らし高齢者のつどい事業〔松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

...年間25回 925名参加

ひとり暮らし・ふたり暮らし高齢者を対象に、安否確認を兼ねての会食会や親睦旅行等を実施した。

(5) 100歳敬老事業〔古川・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕...18名へ贈呈

100歳を迎えられた高齢者の方へ花束の贈呈を行った。

2) 社会福祉調査事業

(1) 社会福祉調査事業〔各支所〕

大崎市民の福祉ニーズや支援及び援護を必要とする世帯等を社会福祉調査にて把握し、地域福祉事業に反映できるよう努めた。

(2) 地域福祉ニーズ調査〔田尻〕

ふれあいと笑顔があふれる世代間交流の推進

～地域をつくる世代間の絆づくりの推進～

地域、世代間を超えた交流を図り、高齢者から子どもまでの絆づくりを推進して参りました。

1) 地域・世代間等交流事業

(1) シルバーフェスティバル

...年間1回開催 1,000名参加

教養講座「趣味の講座」を通じての発表の場として提供し、各講座の受講生同士の交流の場として開催した。

(2) 世代間交流事業〔各支所〕

...年間29回実施 1,320名参加

高齢者、障害(児)者、子ども等、レクリエーション活動を通じての交流ふれあい事業を実施した。

(3) 子育て支援事業〔岩出山・鳴子〕

...年間3回開催 98名参加

子育て中の親子を対象に、子育てにおける不安や悩みなどの相談や仲間づくりなど、地域との繋がりを図りながら推進に努めた。

- (4) 金婚祝賀会事業〔三本木・岩出山・鳴子〕 …年間3回開催 98名参加
結婚50年を迎えられた夫婦を対象に祝賀会を実施。また、三本木支所においては、三世代夫婦を祝う会を同時に実施した。

2) おおさき福祉の心コンクール事業

- (1) おおさき福祉の心コンクール〔本所・各支所〕 …年間1回 420作品
大崎市内の小・中学校の児童・生徒を対象とした、福祉の心を育てる一環として福祉作文・ポスター・標語・書道を募集し、大崎市社協表彰式にて最優秀作品の発表、表彰を行った。

地域づくりに向けた関係団体の交流

～人の和と団体の輪の地域づくり～

各支所地域の社協活動を充実させ、行政区単位等の地域福祉活動の展開を図り、関係福祉団体等と連携して地域の福祉力の向上を推進した。

1) 小地域福祉ネットワーク事業

- (1) 支部社協・地区社協支援事業〔古川・岩出山・田尻〕 …年間144回支援
支部社協・地区社協(小地域)活動に関して、自主的な事業活動を展開する組織を育成すると共に、地域の方々が共に支え合う地域福祉の推進を図ることを目的とし支援に努めた。
- (2) いきいきふれあいサロン事業〔岩出山〕 …年間77回 1,503名参加
地域を拠点として、高齢者、地域住民、ボランティアが自主的に企画や内容などを話し合い、サロン活動を進めており、仲間づくりや活動支援などに努めた。

2) 地域福祉団体等活動支援事業

- (1) 地域福祉推進団体活動支援事業〔各支所〕
民生委員児童委員協議会、身体障害者福祉協会、母子福祉会、遺族会等の各種団体への事務支援や団体助成を行った。
- (2) 大崎市障害者ふれあいレクリエーション大会開催支援〔本所・各支所〕
大崎市身体障害者福祉協会主催による障害者スポーツ大会が開催され、大崎市社協本所・支所職員・ボランティアによる協力・支援を行った。

地域づくり推進のためのひとづくり

～社会福祉の人材養成・研修～

地域福祉を支える人材の育成・教育を強化推進した。

1) ホームヘルパー 2 級養成講座事業

- (1) ホームヘルパー 2 級課程養成講座〔本所〕 …年間 1 回 20 名受講
大崎市における福祉マンパワーの確保と、専門的福祉人材の養成を目的として養成講座を開催した。

2) 福祉出前講座

- (1) 福祉出前講座事業〔古川・鹿島台・岩出山・鳴子〕
…年間 62 回実施 1,937 名参加
地域の中で自主的に活動できるサロン従事者や地域リーダー等の福祉人材を養成し、より地域に根ざした福祉活動を展開した。

活動展開のための拠点づくり

～事業展開のための拠点施設の整備と活動の展開～

地域住民のニーズに沿った安心して暮せる福祉環境を整えるため、未整備地区への福祉施設の整備を推進した。

1) 在宅福祉サービスの拠点整備

- (1) 特別養護老人ホーム 楽々楽館の開設〔古川〕
大崎市西部地域に地域密着型特別養護老人ホームとして5月2日に開所し、短期入所施設との併設として福祉施設拠点の整備を行った。

3. 生活援助事業

厳しい経済・雇用環境の中で、福祉制度としての様々なニーズの援助が必要となった世帯に支援を行うことにより、生活の安定や生活意欲の助長を図ることを目的として、各種の生活援助事業の推進に努めた。

(1) 生活福祉資金貸付事業【宮城県社協受託事業】

…5件 1,577,000円

(2) 特例緊急小口資金〔各支所〕

…1,252件 176,574,000円

(3) 生活復興支援資金〔古川・三本木〕 …3件 1,880,000円

(4) 生活安定貸付事業〔各支所〕 …29件 1,450,000円

(5) 愛の金庫貸付事業〔古川・岩出山・田尻〕…21件 202,000円

(6) 災害見舞金支給事業【宮城県共同募金会へ申請】

…116件 2,390,000円

9月21日に発生した台風15号による床上浸水世帯と火災により家屋の全焼被害等があった罹災者に災害見舞金の支給を行った。

(7) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ)【宮城県社協受託事業】〔各支所〕

…延べ582回利用

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障害者の福祉サービス利用の援助、日常生活費等の金銭管理、書類保管等のサービスを行った。

4. 大崎市受託事業

大崎市からの高齢者等施策事業の受託を受け、高齢者が住み慣れた地域で、生活が継続できるよう事業の推進に努めた。

(1) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業(シルバーハウジング)〔古川〕

…15世帯対象 年間10,361回派遣

高齢者世話付住宅に居住する60歳以上の世帯に対して、生活援助員の派遣を実施した。

(2) 大崎市古川農村環境改善センター管理運営業務〔古川〕

…年間843回利用 延べ8,745人利用

(3) 地域介護予防活動支援事業「高齢者の集い事業」〔各支所〕

…年間1,491回開催 延べ20,875人参加

大崎市における高齢者(65歳以上)を対象に、介護予防に関する知識の普及・啓発や、介護予防に役立つ自主的な地域活動の育成・支援事業等を実施した。

(4) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

…年間390回開催 延べ6,585人参加

居宅に閉じこもりになりがちな高齢者を対象として、集い等の中で生きがいや健康づくりを目的に介護予防のための活動を実施した。

(5) 会食サービス事業〔各支所〕

…年間205回開催 延べ4,626人参加

65歳以上の在宅高齢者に対し、会食のサービスを提供するとともに、食生活の向上・健康維持等について研修を行った。

(6) 高齢者配食サービス事業〔松山・鹿島台・岩出山・田尻〕

…年間延べ584回実施 延べ6,753人利用

高齢者のみの世帯等を対象として配食(弁当)を行った。

(7) 家族介護教室及び家族介護者交流事業〔古川・松山・三本木・鳴子・田尻〕

…年間11回開催 延べ118人参加

在宅で家族の介護をしている方を対象に、研修会、慰労を兼ねたリフレッシュ事業を実施した。

(8) 移動入浴車派遣事業〔古川・鹿島台〕 ……年間延べ151人利用
在宅において入浴することが困難な身体障害者に対し、入浴車を派遣し、
入浴サービスを提供した。

(9) 移動支援事業〔古川・松山・鹿島台〕 ……年間延べ746人利用
在宅の障害(児)者に対する支援として、屋外での移動に困難がある者
に対して、ホームヘルパーを派遣して外出の支援を行った。

(10) 地域包括支援センター事業

地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に
包括的支援事業(総合相談支援事業 権利擁護業務 包括的継続的ケ
アマネジメント支援業務)及び指定介護予防支援事業を3地域(古川・田尻・
玉造)で実施した。

- ・総合相談支援事業 ……年間相談件数延べ 4,296件
- ・権利擁護支援業務 ……年間延べ 101件
- ・包括的継続的ケアマネジメント業務支援…年間延べ 145件

(11) 介護予防支援事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

…年間1,842件作成

大崎市地域包括支援センターからの委託を受けて、利用者のアセスメント
や介護予防サービス計画を作成した。

5. 指定管理者制度による指定事業

1) 大崎市古川老人福祉センター管理・運営事業

(1) 教養講座「趣味の講座」 ……年間715回 15,395名参加
高齢者を対象に、趣味活動を通じての仲間づくりや生きがいづくりを目的
として様々な分野の教室を設け教養講座を開催した。

(2) 入浴サービス事業 ……年間225回 7,368名参加
古川老人福祉センター内の浴室にて入浴サービスを提供した。

(3) 機能回復訓練事業 ……年間240回 3,823名参加
疾病や負傷等により、身体機能が低下している在宅の療養者に対し、機能
回復訓練を実施した。

(4) マイクロバス「おおぞら」管理・運行业務

…年間218回運行 延べ2,494人利用

老人福祉センター教養講座利用者等の送迎を行った。

(5) 福祉いきいき講座〔古川〕 ……年間3回 105名参加

2) 大崎市鹿島台長寿生活支援センター「ゆうゆう館」管理・運営事業

3) 鳴子デイサービスセンター管理・運営事業

4) オニコウベデイサービスセンター管理・運営事業

平成23年度 介護保険事業・障害者自立支援事業報告について

< 介護保険事業 >

【居宅介護支援事業所】

大崎市社協全体としては、9事業所の居宅介護支援事業所があり、毎月平均1,250名程（前年平均1,160名）の要介護利用者、150名程（前年115名）の介護予防（要支援1・2）利用者となっています。前年度と比較すると要介護利用者、介護予防利用者ともに増加しており、特に介護予防利用者については年間給付管理数1,842件（前年1,382件）となっており、予防支援委託分が包括支援センターからの委託受け入れにより33%の増加となっております。

介護度割合については、介護度1の割合が28%と最も多く、次いで介護度2が23%、介護度3が16%となっており、平均介護度は2.5でした。

支所別利用割合においては、古川の4事業所で43%を占め、次いで岩出山18%、鹿島台13%となっています。

各居宅介護支援事業所のケアプランに位置づけられる、サービス毎の利用割合では、ケアプランの違いにもよりますが、通所介護が40%、福祉用具が26%、訪問介護が13%、短期入所が9%となっており、利用割合は前年度と大きな変動はありません。男女別利用割合では、男性が30%、女性が70%となっております。

【訪問介護事業所】

大崎市社協全体としては、6事業所の訪問介護事業所があり、毎月平均443名程（前年437名）の実人数と8,064回（前年7,653回）の延べ利用者数で、全体での一日当りの訪問件数は265件（前年252件）となっております。前年度と比較すると実人数はほぼ同数となっており、延べ人数は5.3%増加の状況でした。

介護度割合については、介護度4の割合が21%と最も多く、次いで介護度5の割合が19%、介護度1が17%となっており、平均介護度は3.1でした。

支所別利用割合においては、古川が約52%を占め、次いで岩出山が15%、松山、鹿島台が10%、鳴子が7%となっております。

訪問介護のサービス内容は、各事業所によっては、サービス内容の違いはあるものの全体としてのサービス提供時間割合は、身体介護が44%、生活援助が39%、身体生活が17%となっております。サービス提供の時間帯では、通常時間帯が全体の91%を占め、早朝・夜間が9%、深夜対象利用者はおりませんでした。

介護予防訪問介護のサービス内容は、予防（週1回利用）が28%、予防（週2回利用）が52%、予防（週3回以上利用）が20%となっており、サービス提供時間帯についても、介護予防利用者であることから、全て通常時間帯の利用でした。男女別利用割合では、男性が26%、女性が74%となっております。

【通所介護事業所】

大崎市社協全体としては、11事業所のデイサービス事業所があり、毎月平均904名程（前年898名）の実人数と7,835名程（前年7,049名）の延べ利用者数となっております。前年度より月平均実人数はほぼ同数となっており、月平均延べ人数は11%程増加の状況でした。

介護度割合について、介護度1の割合が29%と最も多く、次いで介護度2が27%、介護度3が15%、介護予防（要支援1・2）が12%の割合となっており、平均介護度は2.3でした。

支所別利用割合においては、古川が5事業所で63%（前年61.8%）を占め、次いで鹿島台が2事業所で14%、岩出山が9%、鳴子が2事業所で9%、松山が5%となりました。男女別利用割合では男性が25%、女性が75%となっております。

【訪問入浴介護事業所】

大崎市社協全体としては、3事業所の訪問入浴介護事業所があり、毎月平均55程（前年71名）の実人数と平均217名程（前年273名）の延べ利用者数となっております。前年度と比較して月平均実人数は23%の減少、月平均延べ人数は21%程減少しており、介護事業の中において利用者数の減少が著しく、鹿島台、鳴子については平成23年度末をもって事業廃止となっており、平成24年度からは、古川訪問入浴サービスが市内全域で事業を継続してまいります。

介護度割合については、介護度5の割合が47%と最も多く、次いで介護度4が35%となり、平均介護度は4.3でした。

支所別利用割合においては、古川が81%を占め、次いで鹿島台が13%、鳴子が6%となりました。男女別利用割合では男性が37%、女性が63%となっております。

【福祉用具貸与事業所】

大崎市社協全体としては、2事業所の福祉用具貸与事業所があり、毎月平均283名程（前年297名）の実利用人数であり、前年度と比較すると5%程減少となっております。

介護度割合については、介護度4・5の割合が各23%と最も多く、次いで介護度2が18%となり、平均介護度は3.2でした。

支所別利用割合では、古川が77%を占め、鹿島台が23%となり、男女別利用割合では男性が35%、女性が65%となりました。

【短期入所生活介護事業所】

大崎市社協全体としては、2事業所の短期入所生活介護事業所があり、毎月221名程（前年226名）の実利用人数と1,857名程（前年1,902名）の延べ利用者数となっております。前年度比較で月平均実人数は2.2%程度減となっており、月平均延べ人数は2.4%程減少となっております。

1人当たりの利用日数は、平均で古川が8日、鹿島台が10日となっており、1日当たりの利

用人数は、平均で古川が 40 名定員に対して 34.2 名程度で、鹿島台が 24 名定員に対して 27 名程となりました。鹿島台については、施設入所者が入院した場合の空床利用をしているため定員以上の実績となっております。

介護度割合については、介護度 4 が 26%、介護度 3 が 23%、次いで介護度 5 が 18%となっており、平均介護度は 3.2 でした。

支所別利用割合においては、古川が 56%、鹿島台が 44%となり、男女別利用割合では、男性が 27%、女性が 73%となりました。

【介護老人福祉施設・敬風園】

敬風園については、200 名の定員で毎月平均 5,782 名程（前年 5,757 名）の延べ人数となっており、新規入所者は 60 名（前年 33 名）で、退所者は 58 名（前年 36 名）となりました。新規入所者は、重介護度の利用者が多くなっている状況であり、月平均 5.9 名程度（前年 8.3 名）の入院者がおります。

介護度割合については、介護度 4 の割合が 40%、次いで介護度 5 が 37%、介護度 3 が 14%となり、平均介護度は 4.0 でした。男女別利用割合については、男性が 22%、女性が 78%となっております。

【地域密着型介護老人福祉施設】

楽々楽館については、5 月 2 日開所して 10 日間程で満床となりました。29 名の定員で毎月平均 835 名程の延べ人数となっており、新規入所者は 34 名で退所者は 5 名。体調不良などの入院者数は月平均 1 名ほどの状況でした。

介護度割合については、介護度 5 の割合が 39%、次いで介護度 4 が 32%、介護度 3 が 15%となっており、平均介護度は 3.9 でした。

男女別利用割合については、男性が 26%、女性が 74%となりました。

【認知症対応型共同生活介護事業所・和楽路】

認知症グループホーム和楽路は、定員 9 名で毎月平均 260 名程（前年 272 名）の延べ人数となりました。

介護度割合については、介護度 2 が 43%、次いで介護度 3 が 25%、介護度 4 の割合が 21%となっており、平均介護度は 2.6 でした。男女別利用割合については、今年度全員女性利用者となっております。

< 障害者自立支援事業等 >

【居宅介護事業所】

身体・知的・精神障害者に対する訪問介護事業で、大崎市社協全体では田尻を加えて6事業所があり、毎月平均58名程（前年54名）の実人数と559回（前年921回）の延べ利用者数となっております。前年度比較で、月平均延べ人数は39.3%減少の状況でした。

【共同生活介護（援助）事業所・ケアホーム「あじさい」】

知的障害者に対する共同生活介護（援助）事業で、大崎市社協全体としては、1事業所（8共同居住地）1居住地当たり4～6名の方が共同生活をしており、月平均実人数で48名の方が利用しております。その内3名の利用者は、就労しております。

48名の定員で毎月平均1,437名程（前年1,429名）の延べ人数となっており、入退所者が其々1名ずつありました。

【生活介護事業所】

指定生活介護事業所は鹿島台に1事業所（サテライト2ヵ所）あり、月平均47名程（前年43名）の実人数と880名（前年786名）の平均延べ利用者数となっております。また、基準該当生活介護事業所として古川（4事業所）が月平均実人数6名（前年7.8名）月平均延べ人数35名（前年53名）となり、鳴子（1事業所）が月平均実人数2名（前年2名）月平均延べ人数36名（前年32名）の利用がありました。

【障害者通所施設・小規模作業所】

知的障害者、精神障害者の方が住み慣れた地域で、その人らしい生活実現に向け、古川（3施設）において各種生産活動及び生活指導や自立生活の促進に努めました。

- （1）知的障害者通所授産施設「あしたの広場」の運営
- （2）知的障害者通所援護施設「ふれあい広場」の運営
- （3）精神障害者通所小規模作業所「ひだまり」の運営